

第1回 導入

【配付資料】

道垣内弘人『プレップ法学を学ぶ前に』第3章、第4章

第一回は、全体の導入として、配付資料を用いて、法学を学ぶ際の留意点を確認していく。授業では配付資料に即して講義担当者が説明するが、受講生には各章との関係で講義担当者が設定した問に答えてほしい。

●第3章 法の体系と形式

1. 不便のような気がするが

問：なぜ出来事ベースで法律はできていないのか？

2. 法の分類

- ・公法と私法、さらに社会法
- ・実体法と手続法
- ・行為法と組織法
- ・民事と刑事

例) 自動車事故

問：なぜ「民事で有罪」という言い方は避けるべきなのか？

3. 制定法のいろいろ

- ・制定法の階層
- ・各種の制定法の効力：配付資料 60 頁に掲載されている制定法間における効力の優劣関係のうち、最高裁判所規則と法律との間の効力の優劣、及び議院規則と法律との間の効力の優劣については、議論がある：「統治の基本構造」でその点は学ぶ

●第4章 法の適用

1. 裁判所と各種の裁判手続

- ・裁判所の HP をみておくように

2. 民事裁判手続の概要

問：却下と棄却の違いは？

問：事実審と法律審の具体的な違いは？

3. 刑事裁判手続の概要

(4. は略)